

令和5年度 シラバス

整理番号

T機製図18_1

教科名	機械	科	科目名	製図		
履修学年	1	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	702機械製図（実教出版） 基礎製図検定問題集（全工教）					
学習の目標	1 機械技術者を目指す為に必須となる機械製図に関する知識・技能を習得する。 2 2年生で受験する基礎製図検定合格を目指し、様々な投影法のかき方を理解する。					

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	機械製図の基礎的な知識や技術の理解を深め、様々な投影法や図面に関する見方、かき方を習得している。	機械製図に関わる様々な事象やそれに関わる問題点を把握して分析し、それに対処するために、これまでに習得した知識や技術などを活用するとともに、そこで得た知識や経験を元にした発表を行うことができる。	機械製図にかかわる基礎的な知識や技術への関心と、その習得に意欲があり、合理的な生産方法を企画し、実際に活用しようとしている。
評価方法	知識・技能 5割 学習状況の観察 演習問題 定期考査	思考・判断・表現 3割 学習状況の観察 提出物の有無、内容 定期考査	主体的に取り組む態度 2割 授業内での発表、学習に必要なものの、教科書・ノートなどの準備状況の観察。学習状況の観察

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学 期	第1章 製図の基礎 1 機械製図と規格 2 製図用具とその使い方 3 図面に用いる文字と線 4 基礎的な図形のかき方 5 投影図のかき方	製図に関する基礎や規格を理解させ、製図の基礎的な技術の習得を目標とする。 第三角法を理解させ、作図能力を養う。
2 学 期	第1章 製図の基礎 6 立体的な図示法 基礎製図検定対策 1 投影図から立体図 2 不足線の追記	立体的な図形を想像する力を養い、等角図のかき方や不足線の追記方法を習得する。
3 学 期	基礎製図検定対策 3 断面図 4 補助投影図	片側断面図の意味を理解させ、そのかき方を習得させる。 補助投影図の意味を理解させ、そのかき方を習得させる。